

《2016年10月東北支援賛美（うた）の旅 報告》

おしゃべり賛美歌・菅原早樹

2016年10月14日から21日まで、福島と岩手に、支援賛美（うた）の旅にお伺いしました。

10月13日は、阪神地区の諸教会協力で行っている「阪神女性の集い」。今年の講師は奥田知志先生で日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師、認定 NPO 法人抱樸理事長、公益財団法人共生地域創造財団代表理事等、など、たくさんの肩書をお持ちの先生でした。大切なことは肩書ではなく、しておられるお働きで、この先生のホームレス支援、また被災地支援などの多くの働きに私自身とても大きな示唆を受けてきました。東北に行く直前に、この先生のお話をお聞きすることができたのはとても大きな神様からの励ましとなりました。

そして、その10月13日、夜行バスに乗って、一路 福島へ。

14日朝、郡山に着き、そこからバスを乗り継いで念願の会津へ。初めてお会いする高橋先生とは色んなつながりがあり、親しみを持って初対面させていただきました。

元々、幕末好き、会津にきたいと思っていた、と以前からお話していたので、着いたその足で鶴ヶ城に連れて行って頂きました。

折しも、本当に素晴らしい秋晴れで、お城が青空に映えていました。



慌ただしい日常の中から、夜行バスで着いたということで、1日目は、鶴ヶ城観光のほかは、ゆっくりとさせていただきました。今回の旅のきっかけを作って下さった中野姉ともゆっくりお話しする時間を持つことができ、感謝します。

翌15日は、松長五号仮設の集会所に伺いました。

もう住んでおられる人も少なくなって、最近は支援活動に来られる方もほとんどおられないとか。そんな中、4名の方が集まって下さり、とても和やかで温かい時を過ごさせて頂きました。



初めて、仮設住宅で、サインを求められました！
(*~*)

会津滞在中は、会津聖書教会の2階に泊らせて頂き、16日(日)は会津聖書教会で礼拝にあずかり、午後は教会でチャペルコンサートをさせて頂きました。

近隣の方、前月のオンギジャンイのコンサートに来られなかった方も来られ



たとのことで、会津の地で忠実に労しておられる先生方を少しでもお手伝いすることが出来て、とても嬉しかったです。

17日(月)、中野姉と共にいわきに移動。福島第一聖書バプテスト教会(翼の教会)にお伺いして泊めて頂き、18日(火)に「ちょっとカフェ」でコンサートをさせていただきました。

翼の教会は昨年に引き続き2回目ですが、今回、翼の教会の「ちょっとカフェ」では月に1回のイベントの予定を月に2回(前の週にもコンサートがあったので)に変更して、わざわざ迎え入れて下さいました。

わたしも、いろいろとスケジュールを欲張ってしまったせいで、本当はもっと翼の教会、またいわきでゆっくりしたかったのですが、1日だけの駆け足滞在となってしまいました。

でも、教会のみなさん、またその他のみなさんも温かく迎えて下さり、中には昨年お越し下さった方で、わざわざお仕事を休んでこられた方がおられたりもして、とても嬉しく楽しいコンサートのひと時となりました。

前日、コンサートのことを考えていたら、昨年「今度来たら父のことを話します」とお話ししたことを思い出したので、急遽、準備したCDにカラオケの無かった曲でレコーダーにカラオケの入っている曲も含めて、選曲をやり直し。対応して下さいました佐藤将司先生に感謝致します。おかげさまで、何人もの方に、父の証しが良かったと言って頂くことができました。

当初の予定では、18日はもう一泊翼の教会に泊めて頂いて19日に宮古(岩手)に移動する予定でしたが、教会の方でちょうど18日に岩手方面に車で移動する方がおられるとのことで、途中、北上まで便乗させて頂きました。北上から盛岡までは、今回の旅で唯一の電車の行程。盛岡から宮古までは、バスで移動しました。

おかげさまで、体も楽に、そして18日中に宮古に着くことができました。

18日からは宮古のシャロームハウスに泊めて頂き、19日(水)は、午前中に中里仮設に伺いました。

今回、岡山の日本聖約キリスト教団から、牧師先生と信徒の方が2名ずつ、4名が先に来て活動しておられ、たこ焼きを焼いたりマジックをしたり、楽しいひと時を提供して下さいました。

19日と20日(木)は、私もそこへ合流し、ミニコンサートタイムを持たせて頂きました。

楽しみながら、皆さんとの和やかなひと時を過ごさせて頂くことができ、幸いでした。



20日は、午前は白浜仮設、午後は、岡山のみなさんが赤前仮設で活動されるので、私と3.11いわて教会ネットワークスタッフのCat Porterさん、宮古コミュニティーチャーチの岩塚先生(今回の宮古での活動をコーディネートして下さいました)も、そちらに寄って、既に集まっておられた皆さんの前で2曲歌ったあと移動し、社会福祉協議会のデイサービスにお伺いして歌わせて頂きました。

社会福祉協議会では、昨年のわくわく祭りで歌わせて頂いたことを覚えて下さっている方もおられたとのことで、皆さん、楽しみにお待ちしております。

岡山のみなさんは、この日で宮古での活動は終わり。21日の朝早く、岡山に向けて旅立って行かれました。

21日(金)は、私一人となって、少々淋しさを感じながらも、現地の方々の笑顔を心の糧に、午前・銚ヶ崎公民館、午後・津軽石復興住宅とそれぞれコンサートの時を持たせて頂きました。



21日夜、宮古を夜行バスで出発し、22日(土)東京でバスを乗り継ぎ、昼行バスで、東京から大阪に無事に戻ることができました。

今回、会津と宮古で仮設住宅を回らせて頂き、宮古では復興住宅の集会所でもコンサートをさせていただくことができました。

会津でも宮古でも、仮設住宅は縮小・統合の方向で、今回が最後という仮設住宅もありました。一方で、依然として仮設住宅から出られない方もおられます。

また、復興住宅、住宅再建、新しいコミュニティーの中で様々な新しい問題も起こっていることもお聞きました。

また、福島原発の問題の根深さ、広さ、複雑さも痛感しています。まだまだ復興支援の働きは続くのだと、改めて思いました。

今回、帰ってきてから、東北でどのような活動をしてきたのか友人に話していましたら、友人は「もうそのような形での支援は終わっていると思っていた！」と驚きの声をあげていました。

もっと復興が進んでいると、多くの方は思っているのですが、現実はそのようではありません。

人々は、避難→仮設住宅住まい→復興住宅と住まいを変えるたびに新しいコミュニティーづくりに苦労しておられます。そのような中で、こうしたイベントやお茶っこ(ティータイム・茶話会)などの働きはまだまだ必要なのだと感じました。

来年以降、どのように活動させていただけるか、この小さな者に何ができるのか、私にもまだわからないのですが、この働きを続けていけるよう、神様に祈り求めています。

またいつも、この働きの背後で、捧げ、労し、お祈り、支えて下さっている皆様に心より感謝申し上げます。